

にいがた女性農業委員の会だより

第3号

令和2年7月発行

《働く女性のための異業種交流会》

新潟県男女平等推進課主催で、様々な業界で活躍する女性グループの活動紹介などを交えた異業種交流会が開催され、笠原会長がにいがた女性農業委員の会の紹介をしました。参加者同士が楽しく交流できるプログラムもあり、様々な業種の方とのネットワークが繋がりました。

開催年月日：令和元年11月18日

開催場所：アトリウム長岡

参加者：笠原尚美 会長、他7名

交流会内容：

1. 講演

『女性活躍』の本当の意味とは？」

～つながる、つなげる、ゆるやかな連携のすすめ～

《講師》 NPO 法人ワーキングウィメンズアソシエーション

理事長 丸山結香 氏

2. 先進女性グループの取組紹介とパネルディスカッション

《コーディネーター》NPO 法人ワーキングウィメンズアソシエーション副理事長

長岡タクシー（株）代表取締役 恩田真弓 氏

《取組紹介》

- ・にいがた土木女子会議
- ・職場を元気にする女性の会（(一社)新潟県電子機械工業会）
- ・にいがた女性農業委員の会

3. 意見交換会（井戸端会議）

参加者から一言

自分と違う業種の方々とグループ討議を行い、交流が持てとても良かったです。報告会も行われ、たくさんの意見を聞くことが出来ました。自分の業種の中で男性と対等に渡り合って活躍されているのが素晴らしいなと感じました。



交流会の様子

《新潟県女性農業委員等研修会》

新潟県の女性農業委員等が一堂に会し、柏崎市で研修会を開催しました。1日目は事例報告と講演を聞き、その後グループ討議では、各グループで積極的な話し合いがされました。2日目は柏崎市水上にある有限会社山波農場を視察しました。悪天候にもかかわらず、山波剛社長からご説明いただき、地域と農地への思いを伺い、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。今後、人・農地プランの実質化に取り組む際の参考となる、大変有意義な研修会となりました。

開催年月日：令和元年12月3日～4日

開催場所：柏崎市鯨波「ホテルメトロポリタン松島」（1日目）

有限会社山波農場、別俣小学校 視察（2日目）

参加者：1日目44名、2日目38名

研修会内容：

- 事例報告 「人・農地プランで苦勞した事、農地集積・集約の事例」について
新潟市北区農業委員会 山岸洋子農業委員（にいがた女性農業委員の会理事）
阿賀野市農業委員会 笠原尚美会長職務代理（にいがた女性農業委員の会会長）

○講演

「人・農地プランの実質化に向けた今後の推進について」

県農林水産部地域農政推進課 主事 常山徹 氏

○グループ討議

テーマ「農地利用の最適化への取組推進、人・農地プランの実質化に向けて地域の話し合い活動をどうすすめるか」

2日目

○視察研修 有限会社山波農場、別俣小学校



笠原尚美会長 あいさつ



グループ討議の様子

アンケートから

- ・信頼関係を築いた上で、話し合いを重ねる重要性を感じた。
- ・将来の農業について話し合いが始まっていますが、中々進んでいない状況。5年後、10年後は間違いなく集落の担い手が少なくなるので、今から将来に備えて準備が必要と感じた。



視察研修の様子

《にいがた女性農業委員の会「第18回定例総会」》

研修会終了後、第18回定例総会を開催しました。今年度は、役員改選年であり、新役員が以下の通り決定しました。

会 長	笠原尚美	(阿賀野市農業委員)	再任
副会長	菫澤芳子	(魚沼市農業委員)	再任
理 事	江端美春	(新潟市西区農業委員)	再任
理 事	山岸洋子	(新潟市北区農業委員)	再任
理 事	太田雪子	(見附市農業委員)	再任
監 事	南波雅子	(胎内市農業委員)	再任
監 事	水野美保	(柏崎市農業委員)	新任



定例総会の様子

《令和元年度女性農業委員登用促進研修会》

全国の女性農業委員登用促進アドバイザーをはじめとする女性の農業委員等が一同に会し、改めて農業委員会への女性の登用について議論し、情報交換を行いました。

開催年月日：令和2年1月8日～9日

開催場所：東京都「主婦会館プラザエフ」

参加者：笠原尚美 会長、菫澤芳子 副会長、江端美春 副会長
若杉智代子新発田市農地利用最適化推進委員

研修会内容：

○講演

「女性農業委員が増えれば農業委員会が変わる！」

農業ジャーナリスト 榊田みどり 氏

○パネルディスカッション

「農村における女性登用の促進について」

コーディネーター 農業ジャーナリスト 榊田みどり 氏
パネリスト

全国農業委員会女性協議会 会長 横田友 氏

湖国女性農業・推進委員協議会 会長 池田喜久子 氏

鳥取県鳥取市農業委員会 会長 濱田香 氏

2日目

○グループ討議・全体協議

「わがまちの女性農業委員、推進委員をふやすアイデアを出し合おう！」

江端副会長からの報告

～講演を聴いて～

農業委員会の業務は農地の売買、賃貸、転用の許可業務だけではなく、農業政策に農業者の意見を反映させる活動や耕作放棄地を減らすのに、活用方法のアイデアを具体的に考え、地権者とはいつも連携し、実践して初めて農地が生きる。

まだまだ少数の女性農業委員だが、女性の持つ生活者の目線のアイデアが大きな戦力になっている事例は多数ある。女性農業委員としてのスキル向上の為の学習活動も必要である。

～パネルディスカッションの感想～

3名のパネリストの方々も口を揃えて、女性農業委員の人数が少ないと言っている。女性農業委員の登用に皆さん頭を悩まされている中、湖国女性農業委員会会長の池田氏は、2019年度から滋賀県農業会議会長と各市町村を回る「登用促進キャラバン」を実施し県の協議会として登用促進に励んでいると発言された。

～グループ討議の感想～

事務局含め124名もの女性農業委員、推進委員が集まると本当に色々なアイデアが出ていた。中でも多かった意見は男性委員の意識改革、そして各市町村長への働きかけだった。

全国農業委員会女性協議会は、これから ONE・TEAM となり女性委員の登用に励みたい。



研修会の様子

ポータルサイトのお知らせ

全国農業会議所は、農業委員・農地利用最適化推進委員用のポータルサイトを開設しています。「女性委員の活動」のページでは、3月4日に笠原会長が農水省に要請を行った様子が掲載されています。是非ご覧下さい。

アドレス

U R L : <https://www.nca.or.jp/iin/>

QRコード:



今後の予定について

- ☆令和2年8月下旬頃 にいがた女性農業委員の会役員会
- ☆令和2年12月上旬 県女性農業委員等研修会 計画中

事務局から

第2号の発行から期間が空き、大変申し訳ありませんでした。

不定期ではありますが、今後も「にいがた女性農業委員の会だより」を通じて活動のお知らせをいたしますのでよろしくお願い致します。

また、新しい生活様式を取り入れた活動が出来ればと考えております。

問い合わせ先

☆にいがた女性農業委員の会事務局
(一社)新潟県農業会議 総務部

☎025-223-2186